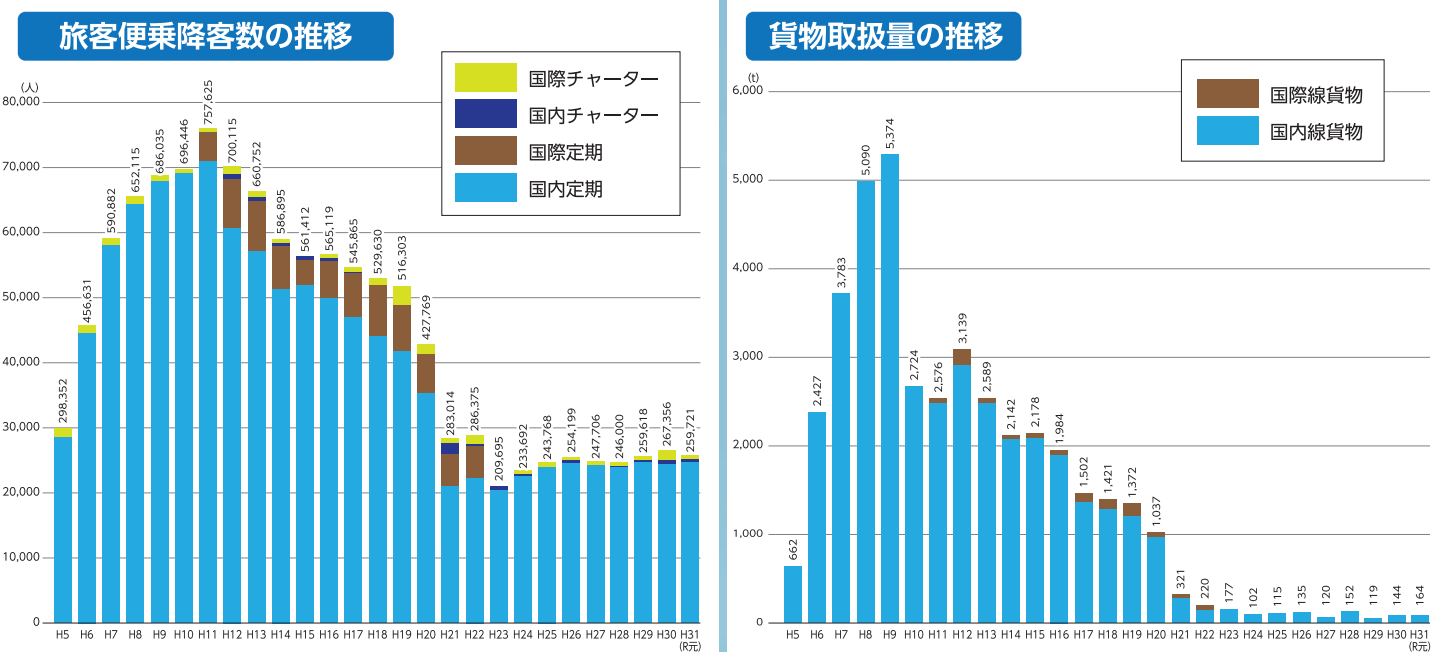
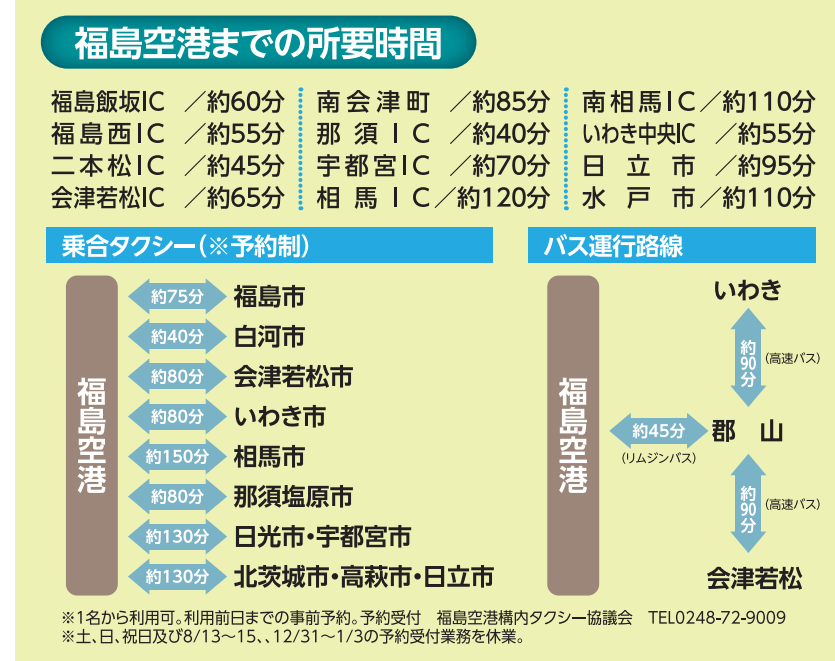
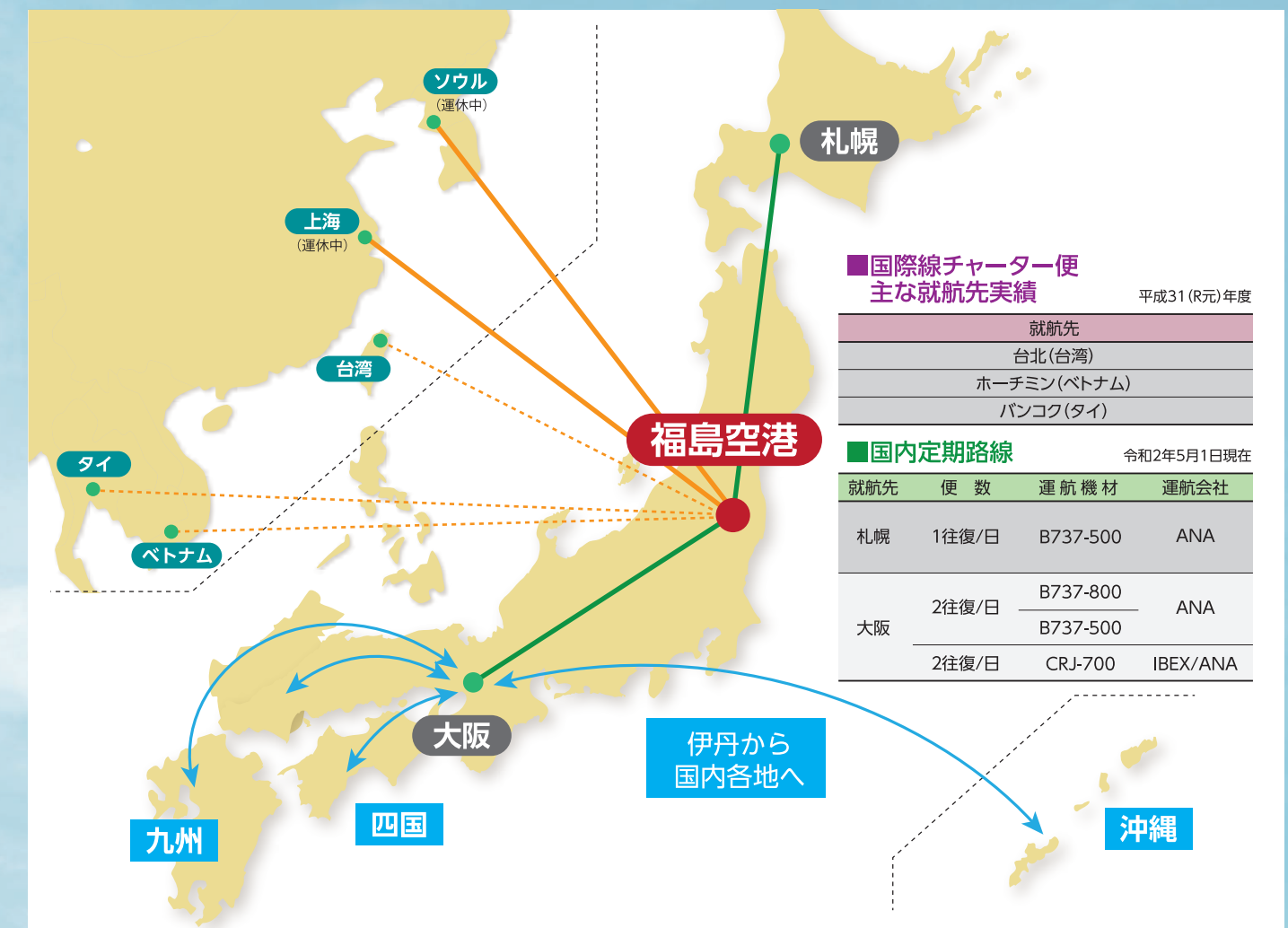


福島空港利用状況

旅客便乗降客数・貨物取扱量の推移



福島空港の航空路線



福島空港

福島県土木部港湾課空港施設室
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
TEL 024-521-7501 (直) FAX 024-521-7913

福島県福島空港事務所
〒963-6304 福島県石川郡玉川村大字北須賀ノバキ田21番地
TEL 0247-57-1111 (代) FAX 0247-57-1257
http://www.pret.fukushima.lg.jp/sec/41410a/

※本リーフレットに対するご意見、ご希望がございましたら、上記までご連絡願います。

2020.3

福島空港

ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima. 福が満開、福のしま。

福島空港のあゆみ

福島空港は、須賀川市と石川郡玉川村にまたがる阿武隈山系の丘陵地に、平成5年3月20日、県管理空港(滑走路長2,000m)として開港しました。

その後、将来の国内線需要の増加や国際化に向け、大型航空機が就航できるよう、滑走路長2,500mの拡張を行って平成12年7月13日に全面供用を開始しました。

開港当初は札幌便、名古屋便、大阪便の3路線でスタートしましたがその後、福島空港の国際化も進展し、平成11年6月に中国(上海)と韓国(ソウル)との間に国際定期路線が開港されました。

現在、定期路線は札幌、大阪の2路線でチャーター便も多くの人に利用されており、東南アジアからの旅行者も増えてきています。(※東日本大震災の影響により上海、ソウル路線は運休中)



昭和52年12月	「福島県長期総合計画」を策定し、この中で「航空運輸の需要増大に対処し関係施設の設置を検討すること」が示された。	平成7年3月16日	飛行場施設変更許可(滑走路2,500m)を申請
昭和55年10月	空港適地選定に着手	6月22日	飛行場施設変更の許可
昭和57年2月1日	福島空港の候補地区を「須賀川東地区」に決定	6月29日	航空法第40条に基づく福島空港の告示
昭和61年6月13日	飛行場設置許可を申請	7月22日	帯広便開設(平成13年3月路線休止)
9月20日	航空法第38条に基づく福島空港の設置許可	11月13日	滑走路2,500m拡張工事の起工式
9月25日	航空法第40条に基づく福島空港の告示	平成9年8月15日	日中航空当局協議において福島空港を中国の新規乗り入れ地点とすることを合意
10月11日	福島空港の政令指定	平成10年6月17日	国際線旅客ターミナル着工
11月28日	福島空港の整備を盛り込んだ第5次空港整備5箇年計画が閣議で決定	平成11年1月21日	日韓航空当局協議において新規路線として福島～ソウル路線を追加することを合意
昭和62年4月1日	「福島県空港建設事務所」を開設	5月31日	国際線旅客ターミナル開港
昭和63年9月14日	福島空港起工式	6月17日	中国(上海)との国際定期路線開設
平成2年4月26日	福島空港ビル株式会社設立	6月22日	韓国(ソウル)との国際定期路線開設
平成3年11月29日	「福島空港の滑走路2,500mへの延長」を盛り込んだ第6次空港整備5箇年計画が閣議決定	平成12年4月1日	「福島県福島空港管理事務所」と「福島県空港建設事務所」を統合「福島県福島空港管理事務所」となる
平成4年10月1日	「東京航空局福島空港出張所」、「福島地方気象台福島空港出張所」、「福島空港管理事務所」を開設	7月13日	福島空港2,500m滑走路全面供用開始
平成5年2月1日	福島県空港管理事務所を福島空港ターミナルビル内に移転	平成13年4月1日	広島路線開設(平成14年3月路線休止)
2月4日	供用開始告示	平成17年2月17日	名古屋路線再開(平成19年11月路線休止)
3月20日	福島空港開港 運用時間(8:30～20:00 11.5時間)	平成20年3月13日	取付誘導路(訓練用)供用開始
	札幌・名古屋(平成15年3月路線休止)、大阪路線開設	6月5日	滑走路警戒灯供用開始
	福岡路線開設(平成18年3月路線休止)	平成21年2月1日	日本航空撤退(大阪路線、沖縄路線)
	函館路線開設(平成14年11月路線休止)	平成23年3月11日	東日本大震災
	沖縄路線開設(平成21年1月路線休止)	平成24年2月19日	利用者数1,000万人突破
		平成27年12月19日	国内線利用者数1,000万人突破
		平成28年3月27日	運用時間延長(8:00～21:00 13時間)
		平成30年3月20日	開港25周年